

漁況情報 号外

令和8年9月30日発行

岩手県水産技術センター

URL : <https://www2.suigi.pref.iwate.jp/>

Tel : 0193-26-7915 / Fax : 0193-26-7920 / E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

9月30日に国立研究開発法人 水産研究・教育機構から「2026年度 第2回 太平洋スルメイカ 長期漁況予報」が発表されましたので、内容を紹介します。

令和8年8月～9月に実施したいか釣り調査及び漁況経過を主要な情報として、太平洋における令和8年10月～12月のスルメイカの来遊量を予測したものです。

《令和8年10月～12月の三陸海域におけるスルメイカの見通し》

来遊量は前年並となり、期間を通じて漁場が形成される。

***** 今後のスルメイカ漁況の見通し(令和8年10月～12月) 抜粋 *****

対象海域：道東太平洋海域、根室海峡～オホーツク海、津軽海峡～道南太平洋海域、常磐～三陸海域

対象漁業：いか釣り、底びき網、定置網、まき網、刺し網

対象魚群：主に冬季発生系群（2026年級群）

1 道東太平洋海域（小型いか釣り、底びき網）

（1）来遊量：前年を下回る。

（2）漁期・漁場：対象期間を通じて漁場となる。

2 根室海峡～オホーツク海（小型いか釣り、底びき網、定置網、刺し網）

（1）来遊量：前年を下回る。

（2）漁期・漁場：漁期は前年と同様に11月までとなる。

3 津軽海峡～道南太平洋海域（小型いか釣り、定置網）

（1）来遊量：前年を下回る。

（2）漁期・漁場：対象期間を通じて漁場となる。

4 常磐～三陸海域（小型いか釣り、小型底びき網、沖合底びき網、まき網）

（1）来遊量：前年並。

（2）漁期・漁場：対象期間を通じて漁場となる。

御質問等は、漁業資源部（担当：村上）までお寄せください。

なお、本予報の詳細については、国立研究開発法人水産研究・教育機構Webページ

(https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2026/fri_20260930_surume-pac-2nd.html)
を御参照願います。